

盲導犬育成業務について

- 歩行指導員研修生 1 名に対し、平成 30 年度に引き続き訓練業務についての基礎的な教育をおこなう。
- 盲導犬育成事業の充実強化のため、経験者 1 名の雇用を検討する。
- 平成 30 年度に引き続き、自家繁殖体制を強化する。具体的には保有犬のなかから繁殖犬（台牝・種牡問わず）にふさわしい犬を選定し繁殖犬として確保すること、並びに然るべきルートを通じて外部より優れた繁殖犬（種牡）の提供を受けることである。
- 年度内に 1 度の繁殖をおこなうよう試みる。
- 信頼できるルートを通じて 1～2 頭の子犬を盲導犬候補犬として外部より購入する。
- 子犬飼育ボランティアのための研修会を最低月 1 度開催するほか、細やかな訪問指導をおこない、飼育ボランティアの負担軽減と候補犬の幼少教育の質の向上を図る。
- 現在訓練中の候補犬●頭、並びに年度前半期に子犬飼育ボランティア宅から戻る候補犬●頭について訓練をおこない、このうち 2 頭を盲導犬適正審査に合格させることを目標とする。
- 盲導犬使用者（4 名）に対し、当協会歩行指導員によるフォローアップの機会を提供する。

盲導犬育成事業を支えるボランティアについて

- 自家繁殖が始まり子犬飼育ボランティアが慢性的に不足している事実に鑑み、現在の募集告知方法の他に新たな募集告知方法を試みる。
- 年度内はキャリアチェンジ（進路変更）する可能性がある犬の数が限られているため、キャリアチェンジ犬飼育ボランティアの募集を積極的におこなわない。
- すでにキャリアチェンジ犬を引き取っているボランティアについては、地域の愛犬家団体（水戸フライングドッグクラブ）と連携し、しつけ教室やイベントの開催、トレーナーの紹介をおこない、引き取り後のケアを充実させる。

広報啓発活動と財源強化のための取り組みについて

- 以下に挙げる諸々の活動を通し、社会全体へ視覚障害者、並びに盲導犬育成事業に関するより深く正しい知識の普及に努める。また、これらの活動を通して盲導犬育成事業への理解を求め、財源の充実強化に繋げていく。
- 外部団体（例：社会福祉協議会、教育機関、慈善団体）に働きかけ、その協力のもと、講話や学習会を開催したり、冊子等を配布したりする機会を増やす。次世代育成の重要性に鑑み、特に小学生をはじめとする若年層を対象とした啓発業務に重点を置く。

- 盲導犬に関しての講話の依頼を可能な限り多く受諾し、又は官民大小問わず様々な催事での広報啓発活動を可能な限り多くおこなう。
- ライオンズクラブやロータリークラブ等の慈善団体と更なる交流を深め、広報啓発活動への組織的な助力を仰ぐ。
- 一般の希望者を対象とした当協会主催の学習会を原則月1回開催する。また、チラシの作成配布、インターネット上での告知を通してこの学習会の周知に務める。
- 水戸京成百貨店／小沼渉写真事務所の支援のもと、盲導犬の写真展（平成31年7月後半）を開催する。
- 茨城県保健福祉部障害福祉課と連携し、盲導犬並びに視覚障害についての啓発活動を展開する（平成31年秋）。
- 協会の支援団体である「ローリー基金」が開催する様々な支援活動（チャリティーコンサートや街頭募金活動など）に対して、役職員と広報犬を派遣するなど積極的に協力し、支援活動の効果が向上されるよう努める。
- 愛犬家団体「水戸フライングドッグクラブ」（水戸市）と「ケーナインディスクジャパン」（神戸市）の支援のもと、愛犬家を対象としたチャリティーイベントを開催する。
- 年度内は特に会社等の企業への人的支援、財政的支援を求めるため様々な働きかけを試みると同時に、すでに支援を申し出てくださいしている企業（株式会社小松製作所など）と連携し盲導犬育成事業、並びに広報啓発活動のさらなる拡充を目指す。

その他

- インターンシップを可能な限り受け入れ、本事業について若年層に関心を持ってもらえるよう努める。
- 国の推進する「心のバリアフリー」に賛同し、視覚障害者に接する立場から「心のバリアフリー」についての啓発活動を展開する。この目的のため、公益財団法人日本補助犬協会が開催するセミナー等に当協会の役職員が参加し、「心のバリアフリー」についてのさらなる知識の習得を目指す。
- 上述した事業計画の達成に必要と考えられる諸々の副次的事業をおこなう。

平成31年3月26日、平成30年度第5回理事会にて決裁。

一般財団法人いばらき盲導犬協会

事務所：〒312-0052 ひたちなか市東石川3444番地7

訓練センター：〒312-0052 ひたちなか市東石川3610番地10

TEL: 029-275-3122 | URL: guidedog.ibaraki.jp | eMail: info@guidedog.ibaraki.jp